

ぼっけもん

⑥④ 日本語
～その3～



お誕生おめでとう

(9月30日までの届出分・敬称略)

住 所	保 護 者	性別	出生児
岡別府1159-24	山本 和久	男	りゅうき 龍輝
下益丸	本松 幸治	女	ちはな 千華
菱田3219-3	市來 光二	女	ゆりか 友莉花
鷲塚	平原 伸二	女	ねね 寧音
崎園	上園 伸一	男	たつのぶ 辰伸
仮宿1720-2	竹野 文英	女	ちほ 千星
上谷迫	吉留 浩之	女	ゆうか 佑佳

ごめい福をお祈りします

香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付を
していただきました。故人のごめい福をお祈りします。

(9月30日までの届出分・敬称略)

仮宿上	上村ミチ子 (亡 夫) 虎 夫	76歳
大 丸	下野キミヨ (亡長男) 勇	69歳
永 吉	山王サダ子 (亡 夫) 客 雄	73歳
角 堂	留森 久男 (亡 妻) ミ エ	73歳
田 中	宝木 鶴幸 (亡 母) 八重子	81歳
牧	今村 幸子 (亡 夫) 重 郎	69歳
中 組	中村 伸明 (亡 父) 悌 藏	95歳
梶 岡	中倉 毅 (亡 弟) 信 雄	49歳
神領町	龍相 保則 (亡 母) ミサヲ	85歳

大崎文芸

薩摩郷句 三條風雲児 選

兼題 『嘘』

二期目いな公約きちった嘘も出つ

(唱) だんだん見えつきた黒か腹

嘘臭せち思もながい乗い儲け話

(唱) 大て損ぬしてからやれ梅やん

娘を庇つ父にな年中嘘を吐つ

(唱) 後悔せんにや良がくそ愛情

嘘涙でぐりつやらえた初な青年

(唱) こげん調子で年中振られつ

北村虎王
仲人の優し姑ち嘘も嘘

(唱) 娘れつみたやそん厳しこつ

火の神に燃ゆる鶏頭供えけり

余利野静子

野の風に友の声して盆会かな

折田 スズ

初盆や提灯ゆれる闇の中

坂元つる子

花火屑残して子等の去りにけり

三浦 倫子

星月夜照らす神秘さ仰ぎおり

宮下 のし

蔵の中新米久し賑わいて

内村美恵子

漁火の遠く花火の上りけり

二見 淑子

大崎俳句会